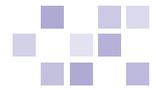


# 就職・採用活動における生成AI



## 就職・採用活動における生成AIの使用状況は？

### 学生の使用率は14.5%、企業の導入率は2.7%

2022年11月に米国OpenAI社が「ChatGPT」を公開したことを契機に、生成AIが一般に利用されるようになった。そこで、就職・採用活動における生成AIの利用状況についても聴取した。

まず、就職活動において生成AIを使用した学生は14.5%で、8割以上は未使用であった(グラフ③)。2024年卒の就職活動の最中に一般利用が広がっていったため、学生の使用が限定的だった可能性がある。

使用した学生の使用場面として最も多かったのは「自己PRの作成」で48.2%。次いで、「エントリーシートなどの添削」(44.6%)、「エントリーシートなどの作成」(41.7%)、「志望動機の作成」(36.5%)などで、書類選考に関連する用途の割合が高かった(表④)。また、具体的な使用方法や使用に関する考えを聞いたところ(グラフ⑤)、「生成AIから得た

回答を吟味して修正した上でエントリーシート等に使用した」に「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した学生の合計(以下、「当てはまる・計」)は73.8%、「生成AIを使用して、エントリーシート等の内容を本来の自分以上に良く見せても良いと思う」の「当てはまる・計」は51.6%であった。また、「就職活動で生成AIを使用することには不安を感じる」の「当てはまる・計」は42.7%で、使用学生の中でも不安を感じる学生が4割を超えていた。

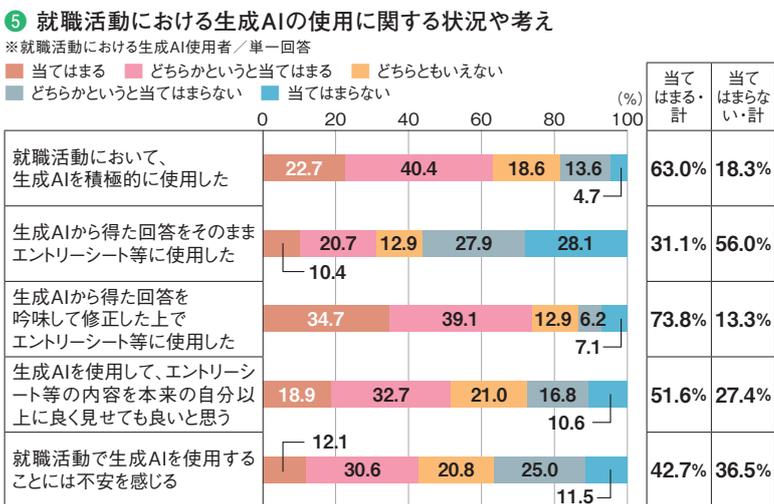
一方、新卒採用にAIを「導入している」という企業は2.7%で、「導入していないが、今後導入することを検討している」は8.9%、「導入する予定はない」は68.2%であった(表⑥)。導入企業のうち、生成AIを「活用している」という企業は15.0%で(グラフ⑦)、導入・活用とも慎重な様子が見られる。また、企業全体において、学生が生成AIを活用することへの方針が「定まっている」という企業は1.9%にとどまった(グラフ⑧)。

**学生** 生成AIを就職活動に使用したことがある学生は14.5%。応募書類作成に使用した学生の割合が高い



④ 生成AIを使用した就職活動プロセス ※就職活動における生成AI使用者/複数回答 ※「その他」は割合

n	情報収集	応募する企業探し	自己分析	企業研究	志望動機の作成	自己PRの作成	エントリーシートなどの作成	エントリーシートなどの添削	面接対策
261	28.5%	11.3%	30.2%	20.7%	36.5%	48.2%	41.7%	44.6%	14.0%



**企業** 新卒採用に生成AIを導入している企業は2.7%

⑥ 新卒採用におけるAI導入状況 ※新卒採用実施または実施予定企業/単一回答

	n	導入している	導入していないが、今後導入することを検討している	導入する予定はない	分からない
全体	1,458	2.7%	8.9%	68.2%	20.2%
<b>従業員規模別</b>					
300人未満	514	1.9%	5.3%	72.8%	20.0%
300～999人	499	3.0%	8.6%	70.7%	17.6%
1,000～4,999人	347	2.6%	13.0%	62.5%	21.9%
5,000人以上	92	6.5%	15.2%	51.1%	27.2%

